

つどいWalker vol.1

第一回実行委員会 in 東京 2011/1/29~30

★32 つどい始動しました★



○はじめに

とうとうやってきました、32 つどいいよいよ始動です！これから夏にあるつどい本番に向けて動き出していくわけですが、知らない人もいるかもしれないのでまずはじめにこの「つどい Walker」について説明します。「つどい Walker」とはつどい本番までに5回、本番の後に1回の実行委員会があるのですが、みんなの予定を全部聞いて日程を決めているわけではないのでどうしても実行委員会に出たい、議論したいと思っている人でも参加できないことがあります。歯がゆいですね。そんな人のために実行委員会で行った議論や講演、その様子を知らせてあげようということで作られたわけです。まあ長々と書きましたが、要するに実行委員会の活動報告です。実行委員会にこれなかった人はこれを読んで思いをはせて、実行委員会に参加したという人は思い出に浸った手見てください！

○第一回実行委員会の流れ

<一日目>

講演 → SGD (Small Group Discussion) → 交流会

<二日目>

SGD

○実行委員長あいさつ



つ つまるところ

ど どうしても

い 医療を語らざるをえないの

みなさん、はじめまして。昭和大学医学部5年の横山加奈子です。この度、『第32回民医連の医療と研修を考える医学生をつどい』実行委員長をやらせていただくことになりました。

さてさて、つどいって何でしょうね。私の肌がピチピチだった頃、完徹なんてなんのその、だった頃、私の「つどい体験」は始まりました。「つどい体験」とは、本当に学生かよ、って思うくらい何でも知ってて語れる学生がいて、何を知っているかではなく、「私が」どう考えるかをとことん聞いてくる医学対の方々がいらっちゃって、医者にな

るであろう私たちに「待ってるよ」と期待を寄せてくださる患者さんと会うこと。

今年で6回目のつどいとなりますが、つどいは参加するものではなく、作るものだと感じています。今の社会や医療を知るだけなら、新聞やテレビや本で十分です。苦しんでいる患者さんを取り巻く現状を、どう考えるか、どんな医療・社会になったらいいか、医師となる自分にはなにが求められているか、何ができるか。それを将来一緒に働くかもしれない仲間と考え、語れる場です。アドレナリンが溢れる楽しさですよ。

今年もそれぞれのつどい体験が充実するよう、地元で、実行委員会で、共に学びモチベーションを上げていきましょう。

○一日目

《講演》

全日本民医連事務局長

長瀬文雄さん

「民医連の軌跡とこれからの活動について」



今回の講演では民医連綱領について、文面をなぞって話すのではなく具体的な事例を挙げながら実際の活動と結びつけて話してくださいました。

具体的には民医連の始まりである無産者診療所の話から、その当時の功績や活動について語られた後、現在行っている医療として「笑って死ねる病院」や新生児のターミナルケアについて話されました。また、医療以外の活動として平和活動や医療崩壊の抑制に向けて、貧困についてなどを挙げられていました。

講演の中で長瀬さんは綱領の中の「いのちの平等」という部分を強調していらして、民医連の活動は今も昔も根本に「いのちの平等」という理念が存在しているということをお話されていました。

《SGD》

講演の感想を出し合った後に「つどいの魅力」と、第二回実行委員会でのつどいテーマ決めに向けて自分が今興味あることや学びたいことについてディスカッションを行いました。挙げたテーマとしては研修について、平和について、特定看護師についてなど多岐にわたっていました。

《交流会》

今回の交流会では、特に学年別交流が白熱していました！各学年ごとに集まって同級生だけで語り合う学年別交流では、学校のことや自分が不安に思っていることなどを気軽に話せる場であるため、最近の実行委員会での恒例となっています。4年生の学年別交流では間近に迫ってきた研修について各々が持っている不安や知りたいことなどを出し合いました。あまりにも白熱しすぎて時間をはるかにオーバーしてしまうほどでした。

○二日目

《SGD》

二日目のテーマは32回目の今回のつどいをよりよいものにしていくために、実行委員会に来た人や来ていない人も含め、私たちに何ができるのかということについて話し合いました。

挙げた内容としては、「つどい本番の前にテーマについて学習していく」「地元でフィールドワークを行い、本番前にイメージを持っておく」「地元の友達とテーマについて話してみる」などがありました。多く出た意見として、事前に学習して行くのと行かないのでは本番での自分の気持ちが違うというものでした。学習しないで行くとどうしてもつどい本番でお客様感覚になってしまい、SGDでも人の意見を聴くだけになってしまうのだそうです。このウォーカーを読んでいるみなさんも地元での学習をして、楽しいつどいを作っていきましょう！！



○会場からの意見

- ・タイムテーブルをもっと詳しく教えてほしい。せめて講演の時間、SGDの時間が何分かぐらいでも加えてもらえたら嬉しいです。(弘前大 3年のおバカさん。。。)
- ・交流会のソフトドリンクでは、甘いものよりお茶とかの甘くないものを増やしてほしい。実際に今回は甘いものがだいぶあまった模様。(弘前大 いつもお酒飲んでる子)

貴重な意見をありがとうございます。みなさん実行委員会やつどい本番などで、ここを直してほしいという意見やここがよかったから続けてほしいなどの意見があればぜひとも実行委員会で配られる白石さんカードか、周りの職員さん、実行委員に言うなどして伝えてください。**みなさんの声がよりよいつどいを作ります！！**

○初参加者の感想

今回初参加でしたが、普段関わることの出来ない沢山の人々と交流できて楽しかったです。SGD ではグループ間で意見を交わすことができ自分の視野が広がりました。もう少し自分の意見を簡潔に述べられるようになりたいと思ったので、今後も参加して学んでいきたいと思います。

新潟大学1年 栗田絵美

以前から興味はあったんですが、今回初参加させていただきました。初期研修について不安を抱いているのが自分だけではなく、さらには班員の理想の医師像を聞くことが出来、大変刺激となりました。講演を聴いて、医療問題は様々な社会問題に関わるという印象を受けました。それに対して僕たちは一医師の前に一人間として社会勉強を続けていきたい、つどいをそういう学習の場として今後も継続的に参加出来たらと思います。

群馬大学4年 小林大二郎

次回 第二回実行委員会は

3月25～27日 in 岡山

次回の実行委員会でまた会いましょう (^-^)/シ